

内航船舶輸送統計速報 (令和 6 年 7 月分)

1. 概況

総輸送量は、26,588 千トン（前年同月比 2.0%増）、13,419 百万トンキロ（前年同月比 0.1%減）であり、大型鋼船は 17,580 千トン（前年同月比 2.1%増）、9,874 百万トンキロ（前年同月比 0.4%増）、小型鋼船は 7,744 千トン（前年同月比 0.2%増）、3,318 百万トンキロ（前年同月比 2.6%減）であった。

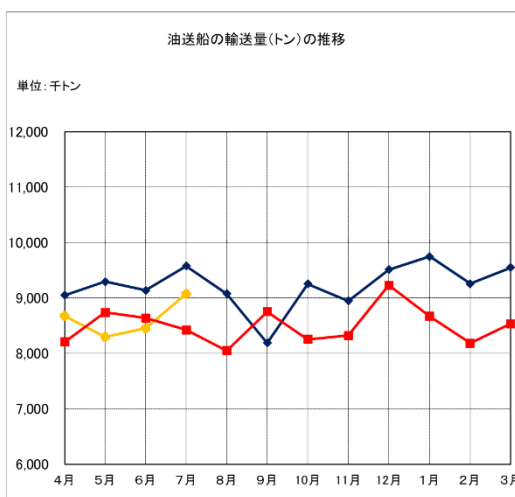
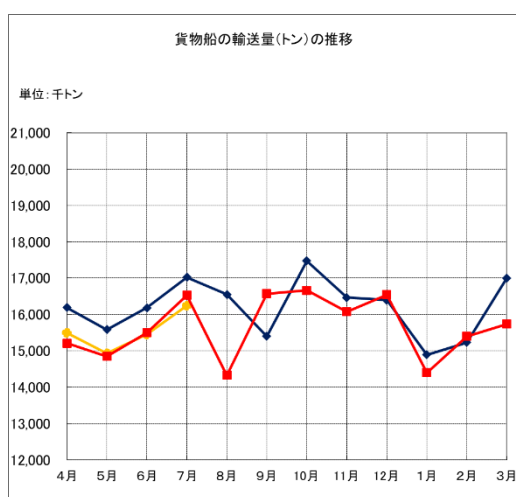
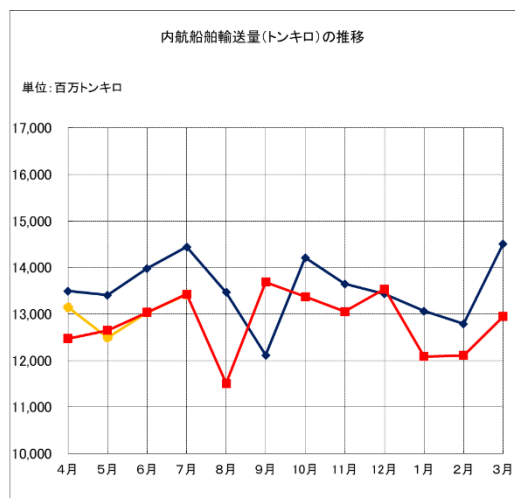
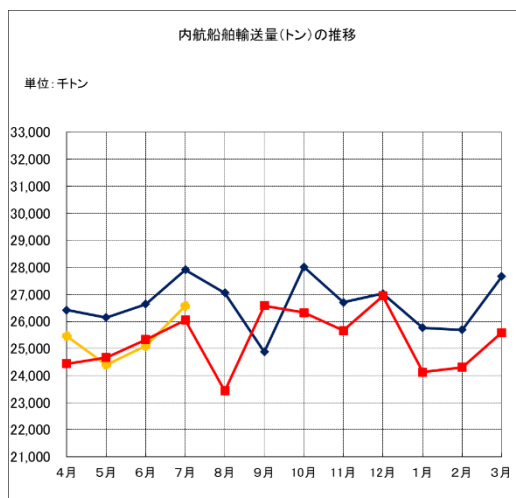
貨物船は 16,251 千トン（前年同月比 1.7%減）、8,554 百万トンキロ（前年同月比 3.5%減）であった。

油送船は 9,073 千トン（前年同月比 7.7%増）、4,637 百万トンキロ（前年同月比 5.9%増）であった。

プッシャーバージ・台船は 1,265 千トン（前年同月比 15.0%増）、227 百万トンキロ（前年同月比 18.6%増）であった。

2. 用途別輸送実績

項 目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合 計	26,588	102.0	13,418,785	99.9
大型鋼船	17,580	102.1	9,873,658	100.4
小型鋼船	7,744	100.2	3,317,997	97.4
プッシャーバージ・台船	1,265	115.0	227,130	118.6
貨 物 船	16,251	98.3	8,554,398	96.5
油 送 船	9,073	107.7	4,637,257	105.9
プッシャーバージ・台船	1,265	115.0	227,130	118.6



凡例：◆ 令和4年度（2022年度） ■ 令和5年度（2023年度） ● 令和6年度（2024年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111（内線 28-748）

担当：染谷、木綿